

情景から気持ちを读もう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

けしき 景色の書き方から、人物の気持ちを想像しよう

読む文章

- ① リクは、一人で駅のベンチにすわっていた。乗るはずだった電車は、目の前で行ってしまった。
- ② 空は、どんよりとした ^{はいいろ} 灰色の雲におおわれていた。冷たい風が、ホームをふきぬけていく。
- ③ そのとき、雲のすき間から、ひとすじの光がさしこんだ。リクは顔を上げて、「次の電車でも、まだ間に合う。」とつぶやいた。

いっしょにやってみよう

れい ②の ^{けしき} 景色から感じられる気持ちは？

① どんよりした雲、冷たい風。

② 暗く、さびしい様子。

③ 答え がっかりした、さびしい気持ち

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① ③で、光がさしこんだ後、リクの気持ちはどう ^か 変わった？

☐ 前向きな気持ちになった

☐ もっと悲しくなった

② 気持ちの ^{へんか} 変化を表している ^{けしき} 景色の言葉は？

☐ 雲のすき間から、ひとすじの光がさしこんだ

☐ 冷たい風が、ホームをふきぬけていく

③ リクの気持ちは ^か 変わったことが分かる行動を書こう。

- 答え 1. 前向きな気持ちになった 2. 雲のすき間から、ひとすじの光がさしこんだ
3. 顔を上げて「次の電車でも、まだ間に合う。」とつぶやいた。

きょうの
めあて

人物のしたことや言ったことから、性格を表す言葉を選ぼう

まず、たしかめよう

- ほがらか（明るく、晴れ晴れしている）・ひかえめ（前に出すぎない）・ねばり強い（あきらめない）・思いやりがある・負けずぎらい
- 性格は、**したこと・言ったこと**をいくつか見て考える。一つの行動だけで決めつけない。

いっしょにやってみよう

れい 「何度失敗しても、次の日にまた練習を始めた。」

- ① 失敗しても やめない。 ▶ ② 何度も続けている。 ▶ ③ 答え **ねばり強い**

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 人物に合う性格の言葉を選ぼう。

ア ほがらか イ ひかえめ ウ 負けずぎらい

(1) いつも明るく笑い、まわりの空気をなごませる。

(2) 自分の意見は、たのまれたときだけ小さな声で話す。

(3) ゲームで負けると、もう一回と言って、すぐに練習する。

② 「思いやりがある」人物がしそうなことは？

☐ こまっている人に声をかけ、必要なら手伝う。

☐ こまっている人に気づいても、自分の分だけ先に取りる。

③ 「ねばり強い」人物がしたことを、一文で書こう。

- 答え 1. (1) ア (2) イ (3) ウ 2. こまっている人に声をかけ、必要なら手伝う。
3. 例：むずかしいパズルを、何日もかけて完成させた。

漢字（食べ物）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

食べ物に使う漢字「菜・果・塩・飯」を読んで書こう

きょうの漢字

音 サイ
訓 な
菜
やさい な はな
野菜・菜の花

音 カ
訓 は(たす)
くだもの けっか
果
「果物」は
「くだもの」と
読む

音 エン
訓 しお
塩
しお しょくえん
塩・食塩

音 ハン
訓 めし
飯
はん ゆうはん
ご飯・夕飯
左は 食へん

いっしょにやってみよう

れい 「くだもの」を漢字で書くと？

① 木の実の
いみの「果」。

② 「物」と合わせて、
とくべつな読み方。

③ 答え **果物**

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 野菜を食べる。

(2) 実験の結果を書く。

(3) お湯に塩を入れる。

(4) ご飯をたく。

② □に漢字を書こう。

(1) の花がさく。

(2) 物を切る。

(3) 水

(4) 夕 のしたく。

③ 「果物」の読みは？

☐ くだもの

☐ かぶつ

答え 1. (1) さい (2) か (3) しお (4) はん 2. (1) 菜 (2) 果 (3) 塩 (4) 飯 3. くだもの

段落の役わりを決めて組み立てよう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

「初め・中・終わり」の段落に、何を書くかを決めよう

組み立てメモ

まとめり	書くこと
初め	話題・伝えたいことの中心
中 (段落を二つか三つ)	中心をくわしくする内容 (一つの段落に一つのこと)
終わり	まとめ・自分の考え

いっしょにやってみよう

れい 「中」の段落を分けるきまりは？

- ① 一つの段落に、一つのまとめり。
- ② 話がかわる所で段落を分ける。
- ③ 内容のまとめりで分ける

やってみよう

できたところまでで OK

1 組み立てメモの「中」に書くとよいものは？

- ☐ 春のさくら、夏のセミ、秋のどんぐり
- ☐ まとめの一言

2 段落のはじめは、どう書く？

- ☐ 一字下げて書き始める
- ☐ つめて書き始める

3 「季節を楽しめる公園」について、組み立てメモを作ろう。

初め	中	終わり

答え

1. 春のさくら、夏のセミ、秋のどんぐり 2. 一字下げて書き始める
3. 例：初め...公園では季節を楽しめる／中...春のさくら・秋のどんぐり／終わり...ぜひ行ってほしい

送りがなを見直そう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

送りがなのまちがいを見つけて、正しく直そう

🔍 まず、たしかめよう

- 送りがなは、**形がかわる部分**から書くのがきほん。
- 書く・書かない・書きます → かわるのは「く・か・き」なので、「書」の後から送る。
- 「しい」でおわるようすの言葉は、「し」から送る。 美しい・新しい・楽しい

🗨️ いっしょにやってみよう

れい 「あたらしい」は「新しい」？「新しい」？

① 「しい」でおわる
ようすの言葉。

② 「し」から送る。

③ 答え **新しい**

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

① 送りがなが正しいほうに○をつけよう。

(1) (美い・美しい) 花

(2) (起る・起きる) 時間

(3) 本を (読む・読すむ)

(4) 水を (流がす・流す)

② 送りがなのまちがいの一つ見つけて、正しく書き直そう。
かぜが強よいので、まどをしめる。

③ 「くるしい」を漢字と送りがなで書こう。

答え

1. (1) 美しい (2) 起きる (3) 読む (4) 流す 2. 強い 3. 苦しい